

<H8-6-A : 問題>

次の文は平面直角座標系（昭和 43 年 10 月 11 日建設省告示第 3059 号）について述べたものである。**間違っているものはどれか。**次の中から選べ。

1. この座標系に用いられているのはガウス・クリューゲル図法である。
2. 現在、わが国は 19 の座標系に別れており、各座標系の原点の値は、 $X=0.000\text{m}$ 、 $Y=0.000\text{m}$ である。
3. 各座標系の X 軸は原点で中央子午線と一致し、北に向かう値が正である。Y 軸は原点で X 軸と直交し、東に向かう値が正である。
4. 各座標系の X 軸上の縮尺係数は 0.9999 であり、中央子午線から約 90 km 離れたところでは縮尺係数が 1.0000 になる。
5. 任意の点を通る経線は X 軸に平行な直線になり、緯線は Y 軸に平行な直線になる。

<H8-6-B : 問題>

次の文は、国土地理院の縮尺 1/25000 地形図を基図として縮尺 1/50,000 地形図を編集により作成したときの取捨選択・総描・転位について述べたものである。間違っているものはどれか。次の中から選べ。

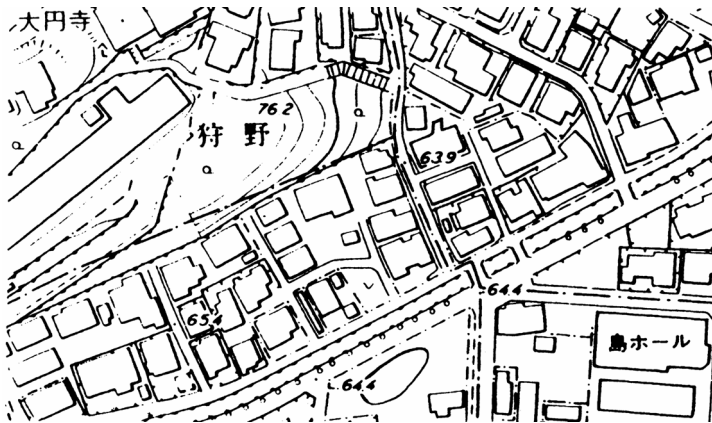
1. 道路の縁に接して水準点があり、道路を記号化したため水準点が真位置に表示できなくなったので記号化した道路の縁に転位した。
2. 市町村の境界が川の中を通っており、川と境界を重ねて表示することができなくなったので、市町村の境界を真位置に表示し、川を転位した。
3. 建物がほぼ一定間隔に分布している団地で、建物のすべてを表示することができなくなったので、向きと並びを考慮し、建物を間引いて表現するようにした。
4. 畑の中に小規模な果樹園が散在し、個々の果樹園はすべて取捨選択の基準以下であったが、一部の果樹園を表示することによって地域の特徴を表すようにした。
5. 山岳部の細かい屈曲のある等高線は、地形の特徴を考慮して総描するようにした。

<H8-6-C : 問題>

図 6-1 は、縮尺 1/2,500 都市計画図の一部であり、図 6-2 は、図 6-1 を基図として編集された縮尺 1/10,000 地形図の一部である。次の文は図 6-1 と図 6-2 を比較したものである。間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 図 6-1 の小さな建物や建物の小凹凸は、図 6-2 では一部省略されている。
2. 図 6-1 の独立標高点は図 6-2 では一部省略されている。
3. 図 6-1 の建物や水涯線の暗影・光輝側（影付け表示）は、図 6-2 では表現されていない。
4. 図 6-1 の等高線間隔は 2m であり、図 6-2 では 5m 間隔になっている。
5. 図 6-1 の建物の注記は、図 6-2 では建物記号に置き換えられている。

図 6-1



1/2,500 都市計画図の一部を
加除修正

※縮尺は、正確に表示されない場合があります。

図 6-2



1/10,000 地形図の一部を加除修正

※縮尺は、正確に表示されない場合があります。

<H8-6-D : 問題>

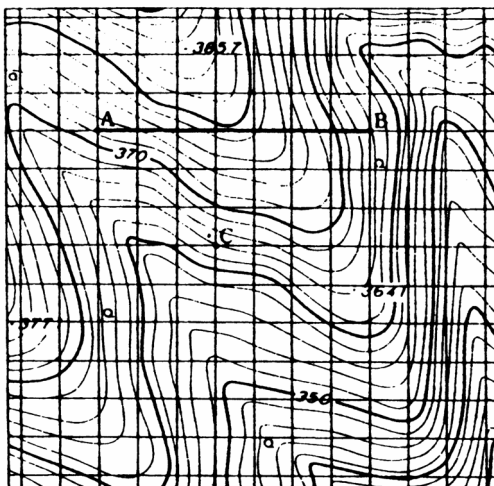
図 6-3 は、地形図を格子状に区切ったものである。また、表 6-1 は、周囲の等高線を基に図 6-3 の格子の交点（格子点）の標高値をデータファイルとして作成したものの一部である。このデータファイルは、コンピュータが扱うことのできる地図データの形態であり、DEM（数値標高モデル）と呼ばれている。 [ア]～[ウ]の中に入る語句の組合せとして最も適当なものはどれか。次の中から選べ。

- ・ 図 6-3 の点 A B 間のデータを順番に取り出し、グラフとして表示することにより、二点間の [ア] が作成できる。
- ・ 図 6-3 の点 C と周囲の格子点データを比較することにより [イ] が把握できる。
- ・ 各格子点の標高値にあらかじめ決められた色を割り当てることにより、 [ウ] による図が作成できる。

ア イ ウ

1. 垂直断面図 傾斜の方向や緩急 標高段彩法
2. 垂直断面図 標高値 けば式地形表現法
3. 傾斜分布図 標高値 標高段彩法
4. 傾斜分布図 比 高 ぼかし式地形表現法
5. 地盤高図 傾斜の方向や緩急 ぼかし式地形表現法

図 6-3



381	382	386	388	388	385	378	372	365	...
375	377	380	383	385	384	380	372	366	...
371	374	376	379	382	383	380	374	367	...
369	370	372	374	376	379	379	375	371	...
371	366	367	368	371	374	375	375	372	...
374	368	363	363	366	369	371	372	371	...
376	370	365	359	361	364	365	367	368	...

表 6-1